



建交労

2022年10月5日 №3

全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2022年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

10月～11月秋の組合員拡大がスタート 物価高騰・円安を乗り越える秋闘を推進しよう

10月1日から秋の拡大月間（10月～11月末）がスタートしました。

第24回定期大会で決定した運動方針は「全国で1,000人の組合員純増目標（年間）」を設定し、秋季年末闘争方針では「500人純増」を目指します。9月下旬には秋闘チラシを作成（1万5千部）し、各組織へ配布しました。引き続き拡大月間中（11月末迄）に実施する宣伝物の作成費用等を補助（上限10万円）します。ぜひご活用ください。（県本部、広域支部、業種部会から申請にもとづきます）

依然としてコロナ禍が続く中で、昨年からの物価高騰と円安が日本経済を停滞・悪化させています。国民生活がひっ迫する一方で岸田政権は、故安倍元首相の国葬を強行し、10数億円もの税金を投入しています。さらには旧統一協会と自民党内の中核がゆき着している構造が日々明らかにされています。被害者らを食い物にしてきた反社集団に取り込まれた内閣に国政を担う資格は有りません。

10月3日から秋の臨時国会が開催されています。立憲野党と市民の共闘を強化する為にも私たち建交労も積極的に参加し、岸田政権を追い詰めましょう。

物価高騰・円安を乗り越える為にも各職場・地域で秋闘・年末一時金闘争・賃上げ、非正規格差を是正に向けた運動を展開しましょう。

3年ぶりにリアルで定期大会を開催（10/2-3） 建交労北海道本部

北海道本部は10月2日～3日の日程で、第23回定期大会を開催しました。コロナ禍の為、3年ぶりのリアル開催となりました。会場には、約25名、オンライン参加は7名となりましたが、交流と団結を深めました。

森國道本部委員長はあいさつで「物価高騰が続いているおり、10月1日から6,500品目以上の食料品が値上がりしました。今こそ各職場で賃金闘争を展開することが労働組合運動に求められています。団結を強化し、仲間を増やして頑張りましょう」と参加者に訴えました。宮澤書記長が経過報告と運動方針の提案を行い、7名が発言しました。各議案を採択、新執行部を選出後、団結頑張ろうを三唱して、大会を終えました。

